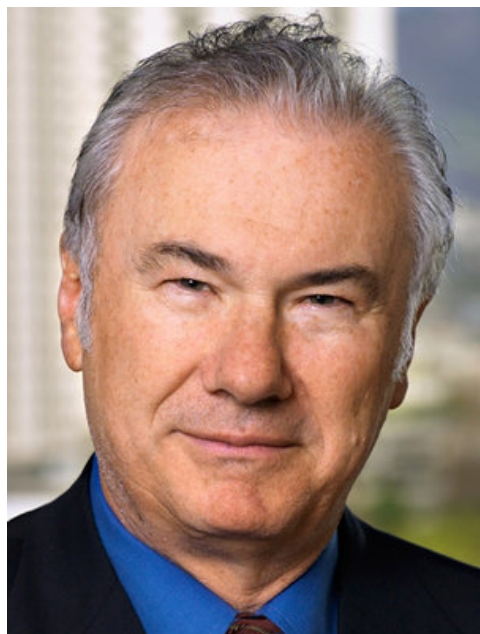


Keio University Global Research Institute

KGRI Great Thinker Series

Dynamic Capabilities, Innovation, and Strategic Management: lessons for Japanese companies and the nation state



Speaker: David J. Teece, Ph.D.

Professor, Haskin School of Business, University of California, Berkeley

Moderator: Jiro Kokuryo

Vice-President of Keio University
Professor, Faculty of Policy Management

Wednesday, March 11, 2020

13:00-14:30 (Open 12:30)

North Hall, Mita Campus, Keio University

講演概要

ティース教授は、周知のように、「急速に変化する環境に対処するために、社内および社外能力を統合、構築、および再構成する企業能力」と定義されるダイナミック・ケイパビリティ論を開発しました。

このアイデアは、今日、戦略経営論分野で最も人気のあるビッグ・アイデアの1つとなっています。

そして、多くの学者が、この「ダイナミック・ケイパビリティ」の研究に従事しています。

日本でも、このダイナミック・ケイパビリティ論は徐々に知られつつあります。

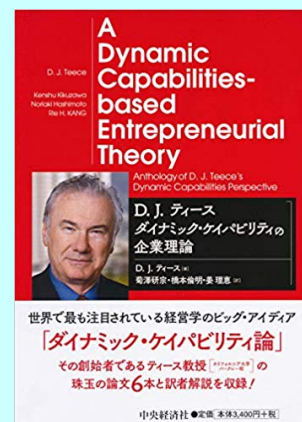
しかし、日本では、いまだこのアイデアやパースペクティブは難解な議論とみなされ、十分に理解されてはいません。

そこで、ダイナミック・ケイパビリティ論とは、どのようなものなのか。

それは、イノベーションや戦略経営とどのような関係にあるのか。

そして、ダイナミック・ケイパビリティ論は、日本企業にとっても必要で有効なのかどうか。

これらについて、ティース教授にお話していただく予定です。



Language: English (Simultaneous interpretation to Japanese provided) 同時通訳あり

Admission: Free. Pre-registration is not required.

Organizer: Keio University Global Research Institute (KGRI)



Inquiries

Keio University Global Research Institute (KGRI)

E-mail: kgri@info.keio.ac.jp